



学校法人名古屋学院
名古屋中学校・高等学校
Nagoya Junior & Senior High School

夢中になれる
明日をサポート

2023年度

ご寄付のお願い

学校法人名古屋学院
名古屋中学校・高等学校

敬愛寄付金



理事長
大島 信二
(昭和47年卒)



学校長
永田 久喜
(昭和56年卒)

学校法人名古屋学院・敬愛寄付金の募集にあたり、ご挨拶申し上げます。

本学は1887(明治20)年、宣教師F.C.クラインによる私立愛知英語学校の開校に端を発し、校名の改称・変更を重ねながら、現在は名古屋市東区砂田橋に学舎を構えております。

建学より、136年の歴史において多くの危機に直面しながら、いつの時代も変わらず「敬神愛人」の精神を育み、受け継いでまいりました。そして現在も、皆様のお力添えの下、キリスト教主義学校として多くの卒業生を世に送り出しております。

コロナ禍、ウクライナ侵攻など、閉塞感の漂う先の見えない現代、勉強に部活動に青春の日々を精一杯過ごす生徒達が、更に充実した教育環境の中で心身共に豊かに成長できるよう、この度の敬愛寄付金募集にご理解いただき、これまで以上のお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

学校法人 名古屋学院 名古屋中学校・高等学校
理事長 大島 信二 学校長 永田 久喜

学校法人名古屋学院：〒461-8676 名古屋市東区砂田橋二丁目1番58号

[Tel] 052-721-5271 (代表) [Fax] 052-721-5277 [e-mail] nagoya-h@meigaku.ac.jp [ホームページ] <https://www.meigaku.ac.jp>



名古屋高等学校 生徒会長
3年生 大谷 悠人

私たちは、学校では仲間と常に切磋琢磨をしながら勉学に励んでいます。分からない問題は互いに教え合い、少ない時間を有効に使って協力し合っています。また、運動部・文化部に関わらず、部活動では日々の活動の中で、先輩・後輩同士で同じ目標に向かいながら努力し、より良い結果を出せるように頑張っています。共に喜びや感動を分かち合い、時には悔し涙を流すなど全力で活動しています。生徒会では、生徒から目安箱に出された案を学校と交渉し、より良い学校にしていこうと学校の生徒全員で努力をしています。また、生徒会では生徒代表として他学校の生徒会との交流や話し合いをすることで、より良い学校作りをできるように努力をしています。



2023年度
ラグビー部主将
石川 空河
鈴木 大登
※共同キャプテン

今年の3月、ラグビー部は4年ぶり3回目となる「第24回全国選抜高校ラグビーフットボール大会」に出場させていただくことができました。全国大会を経験することで、名古屋高校の代表として戦うことの嬉しさと共に名古屋高校を牽引していかなければいけないと自覚が芽生えました。目標とする花園にはまだ手が届きませんが、この経験を糧に目標に向けて努力を積み重ねていきたいと思っています。自分たちと同じように全国大会を目指している部活動や仲間は多くあります。お互いをリスペクトし、切磋琢磨できる仲間たちが大勢いることも自分たちが高い目標を掲げて取り組むことができる大きな力となっています。

これからも、自分たちの目標に向けて、また名古屋高校の代表として一生懸命頑張っていきたいと思います。

現役名中・名高生の

今そして未来へ！



名古屋中学校 生徒会長
3年生 山田 翔世

私は、今回の選挙で当選し、生徒会長になりました。元々、このように人前に立って話したり、リーダー的存在になり、引っ張っていくのが得意でした。

そして生徒会でも、パソコンやタブレットを使い、説明会用の動画などを率先して作り、名中行事を盛り上げてきました。

さて、話は変わりますが、僕には将来行政に携わりたいという夢があります。それは僕が日本という国が好きであり、役に立ちたいからです。

現在、デジタル化が進んでいる中で、僕の特技であるリーダー性や、名中での学びを生かして、明るい未来を作っていけるような人物になりたいと思います。



名古屋中学校 文学部
3年生 東野 礼豊

僕が名古屋中学校に入学してから、名中はかなり変化したと思います。iPadが一人一台導入されてから、紙を使っていた連絡や通知表などが、どんどんデジタル化していきました。また、iPadですぐに調べたいことを調べられるようになり、多くの知的好奇心が、iPadで解決されるようになりました。

そんな中で、僕らを原点に立ち返らせてくれる場所が、図書室です。僕は文学部に所属していて、古典の研究や、俳句を作ったりするのですが、その時に図書室に蓄積された、研究のための参考文献や、句集、詩集などを探して読んだりすることも多いです。本で得る知識は、iPadで得る知識よりも定着するからです。また、図書室は静かな環境が保たれており、机、椅子が整えられているため、勉強にも適しています。これからもデジタルとアナログを両立させて、この学校のコンセプトでもある文武両道にはげみたいと思います。

寄付金募集要項

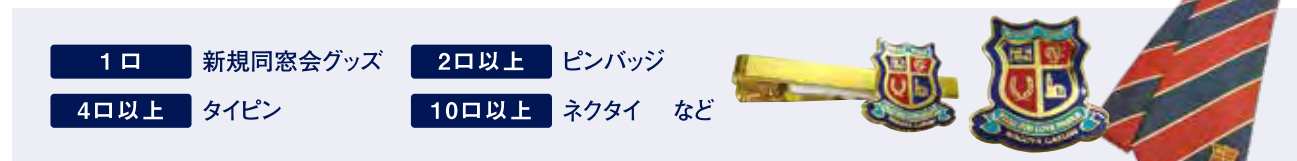
募集の趣旨 創立150周年に向けて、名古屋中学校・名古屋高等学校の質の高い教育を持続するため、恒常的に寄付金を募集し、本校の教育環境の整備充実を目的とします。

寄付金の使途	
1 / ICT教育環境の充実のための費用	2 / 教育設備の更新費用
3 / チャペルの維持管理費用	4 / その他
上記(1)～(3)の他、特に使途を定めず教育環境の整備充実に充てさせていただきます。	

目標額	5,000万円
対象	目的に賛同いただける法人、個人、卒業生、在校生の保護者及び本校関係先のみなさま
金額	個人寄付 一口 5,000円より / 法人寄付 一口 20,000円より
期間	[第1期] 2023年5月1日より2024年3月31日まで ([第2期] は2024年4月1日より開始予定)
募集した寄付金の管理方法	個人及び法人からの寄付金は、使途ごとに区別した上で学校会計の「寄付金収入」で受け入れ、寄付金専用の銀行口座で管理してまいります。毎年度1回以上、寄付金についての事業報告を広報誌「名古屋学院報」及び「本校ホームページ」に掲載し、ご寄付をいただいた皆様へのご報告とかえさせていただきます。

返礼品について

ささやかながら同窓会の名古屋学院グッズをお礼として送らせていただきます。



記念の品に加え、在校生・後輩たちの活躍という形で諸先輩方にご恩返しができたらと考えております。詳細は本校ホームページにてご確認ください。

これまでの歩み

1887

年(明治20年)

- 7月11日 宣教師 F.C.クラインが南武平町に「私立愛知英語学校」を開校
- 9月 名古屋英和学校と改称



1946

年(昭和21年)～

- 同窓生・父兄のご尽力により空襲で焼失した校舎を再建



【昭和初期】
校友会
活動活発

1909

年(明治42年)

- 同窓会設立



1947

年(昭和22年)

- 新制名古屋中学校設立
完成した校舎



1955

年(昭和30年)

- 大幸新校舎へ移転完了

1925

年(大正14年)

- 「曙の蒼空(そら)」が第一校歌と定められる

1920

年(大正9年)

- 名古屋中学校と改称



1948

年(昭和23年)

- 新制名古屋高等学校設立



1957

年(昭和32年)

- クライン・メモリアル・チャペル完成
- 市営地下鉄開通
名古屋一栄町



1973

年(昭和48年)

- 名古屋学院大学が学校法人名古屋学院より分離別法人となる

1960

年(昭和35年)

- 「希望羽搏(はばた)く」が第二校歌(現在の校歌)と定められる

1968

年(昭和43年)

- 校名を「名古屋学院中学校」「名古屋学院高等学校」に変更

1987

年(昭和62年)

- 創立100周年



代々引き継がれる 学校行事



3年ぶりの公開は残念ながら雨でしたが今年こそ晴れやかに!

愛校祭(1952～)

修養会(1958～)



生徒会機関誌

大幸(名高)&紅梅(名中)



1995

年(平成7年)

- エンブレム完成



2001

年(平成13年)

- 地下鉄名城線
「砂田橋」駅まで開通

2002

年(平成14年)

- 新高山ホール竣工



1999

年(平成11年)

- 高山ホール竣工



2003

年(平成15年)

- 115館(現3号館)竣工



2004

年(平成16年)

- 環状地下鉄
「名城線」全線開通

2011

年(平成23年)

- 新校舎・高山スポーツセンター竣工
- 北グランド竣工
(人工芝グランド)



2017

年(平成29年)

- 全教室に
プロジェクター設置



2021

年(令和3年)

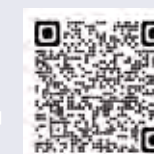
- 授業にiPad導入



様々な社会の変化と共に136年を歩んできた名古屋中学校・高等学校。
長く続いたコロナ禍もiPad等を上手に活用し、元気に頑張っておりました。2022年度は3年ぶりに愛校祭・修学旅行・マラソン大会等も従来に近い形で再開できました。
建学150年、その先に輝かしい未来を見据え、学業で、部活動で、そして社会で貢献できる生徒を送り出すことができるよう、なお一層努力してまいります。
今後とも本学の教育活動に対するご理解・ご支援をお願いいたします。

日々の様子はFacebookでもご覧いただけます。

<https://www.facebook.com/nagoya.junior.senior>



申込方法

[記入例]

個人用

所定欄をご記入ののち、学校法人名古屋学院まで郵送下さい。また、捺印の箇所は必ずご記入下さい。

個人用

寄付申込書

私立学校法第3条に規定する学校法人が設置する学校教育法第1条に規定する学校の教育に必要な費用若しくは基金に充てるため、下記のとおり寄付を申し込みます。

令和 5 年 5 月 1 日

学校法人 名古屋学院
理事長 大島 信二 殿

寄付申込者
※【住所】 〒461-0045
名古屋市東区砂田橋2丁目1-58
(電話番号 052-721-5271) (Email: nagoya-h@meigaku.ac.jp)

※【氏名】 **名古屋 太郎** ※【振込人名義】(カナ) **ナゴヤ タロウ**
ご卒業時クラス 0000
【卒業年】(同窓生のみ) 昭和・平成・令和 **45** 年 3 月卒 学籍番号

1. 寄付金の額 金 **5,000** 円
2. 寄付金払込予定日 令和 **5 年 5 月 10 日**
払込金融機関 〇〇〇〇〇〇 銀行・郵便局
〇〇〇 支店 **新込先** 三菱UFJ 銀行 東支店
普通預金 0747749
学校法人名古屋学院 寄付金口座

3. 指定事項
(1) 指定法人名 学校法人名古屋学院
(2) 寄付金の使途
☐ ICT 教育環境の充実のための費用
☐ 教育設備の更新
☐ チャペルの維持管理費用
☒ 特に使途を定めない
※指定する使途に印を記入してください。指定のない場合、「特に使途を定めないもの」として取り扱い致します。

(3) 寄付者の願影 名古屋学院への氏名の記載を希望 **する**・しない
名古屋学院への寄付額の記載を希望 **する**・しない
※名古屋学院への記載についてご郵送下さい。指定のない場合、ご寄附、ご寄付額共に記載致しません。

4. 通信欄 へご自由にお書きください

【個人情報取り扱い】 寄付者芳名録管理・御礼状・返礼品発送等の寄付金募集業務以外には使用致しません。

(事務処理欄) 回覧表 受付番号 受付日

法人用

所定欄をご記入ののち、学校法人名古屋学院までご郵送下さい。また、捺印の箇所は必ずご記入下さい。

法人用

特定公益増進法人寄付申込書

私立学校法第3条に規定する学校法人が設置する学校教育法第1条に規定する学校の教育に必要な費用若しくは基金に充てるため、下記のとおり寄付を申し込みます。

令和 5 年 5 月 1 日

学校法人 名古屋学院
理事長 大島 信二 殿

寄付申込者
※【住所】 〒461-0045 (電話番号 052-721-5271)
名古屋市東区砂田橋2丁目1-58
※【法人名】 **株式会社 〇〇〇〇**

※【代表者名】 **敬愛 太郎** (印) (または個人名) ※【振込人名義】 **ケイアイ タロウ**
※【担当者名】 **敬愛 太郎** (Email: nagoya-h@meigaku.ac.jp)

1. 寄付金の額 金 **20,000** 円
2. 寄付金払込予定日 令和 **5 年 5 月 10 日**
払込金融機関 〇〇〇〇〇〇 銀行・郵便局
〇〇〇 支店 **新込先** 三菱UFJ 銀行 東支店
普通預金 0747749
学校法人名古屋学院 寄付金口座

3. 指定事項
(1) 指定法人名 学校法人名古屋学院
(2) 寄付金の使途
☒ ICT 教育環境の充実のための費用
☐ 教育設備の更新
☐ チャペルの維持管理費用
☐ 特に使途を定めない
※指定する使途に印を記入してください。指定のない場合、「特に使途を定めないもの」として取り扱い致します。

(3) 寄付者の願影 名古屋学院への法人名の記載を希望 **する**・しない
名古屋学院への寄付額の記載を希望 **する**・しない
※名古屋学院への記載についてご郵送下さい。指定のない場合、ご寄附、ご寄付額共に記載致しません。

4. 通信欄 へご自由にお書きください

当法人は「特定公益増進法人」の指定を受けておりますので、ご寄付頂いた場合は損金算入の措置が認められています。
【個人情報取り扱い】 寄付者芳名録管理・御礼状・返礼品発送等の寄付金募集業務以外には使用致しません。

(事務処理欄) * 同 受付番号 受付日

税務手続きに必須になる領収書の宛名は印部分になります。

お問い合わせ

当校法人課までお問い合わせください。尚、下記HPにて詳細をご覧ください。
申込書ダウンロードも可能です。 <https://www.meigaku.ac.jp/kifu>



税制上の優遇措置について

個人の場合

所得税法上の寄付金控除

本校へのご寄付は所得税法第78条の寄付金に該当するもので、確定申告の際、「所得控除」を受けることができます。
確定申告に必要な「領収書」「特定公益増進法人証明書(写)」は、ご入金確認後に郵送させていただきます。

所得控除 (年間寄付合計額※1 - 2,000円) × (所得金額に応じて5%~40%) = 寄付金控除額(100円未満切捨)

※1 年間総所得金額の40%を限度とする。 ※2 本校に在学中の方またはそのご父兄よりご寄付いただく場合、入学願書受付の開始日より入学年の12月末日迄の間は、税法上「学校の入学に關する寄付金」とみなされ所得税控除の対象とはなりません。

個人住民税の寄付金控除

本校は名古屋市より「寄付金税額控除の対象となる寄付先」の指定を受けています。名古屋市にお住まいの方は、確定申告をすることにより個人住民税から寄付金控除を受けることができます。※内容の詳細については、名古屋市の税務担当課へお問い合わせください。

特定公益増進法人に 対する寄付金

特定公益増進法人に対する寄付金

本校が指定を受けている「特定公益増進法人」に対する寄付として、以下のように免税措置を受けることができます。
次のいずれか少ない額が損金に算入されます。

(1) 特定公益増進法人に対する寄付金の合計額

(2) 特別損金算入限度額 [資本金等の額 × 当期の月数/12 × 3.75/1,000 + 所得の金額 × 6.25/100] × 1/2

※特定公益増進法人に対する寄付金のうち損金に算入されなかった金額は、一般の寄付金の額に含めます。

お申し込みの流れ

1

左記個人/法人申込書(コピー可)にご記入いただき、お手数ですが当校事務局法人課までご郵送下さい。

2

ご記入いただいた金融機関よりお振込みください(恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい)。

3

ご入金を確認後、お礼状および「領収書」・「特定公益増進法人証明書(写)」をお送りします(通常1か月ほど要します)。

「領収書」および「特定公益増進法人証明書(写)」は寄付金控除のお手続きに必須となりますので大切に保管ください。

お申込み先：学校法人名古屋学院 事務局 法人課 〒461-8676 名古屋市東区砂田橋二丁目1番58号
お問合せ：kifu@meigaku.ac.jp Tel.052-721-5271(代表)